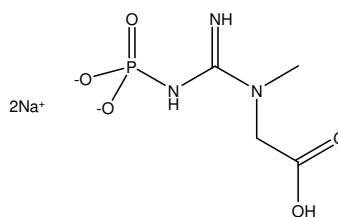


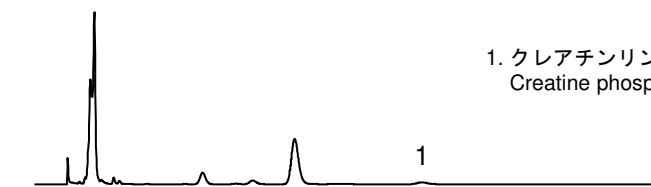
クレアチンリン酸

Creatine phosphate

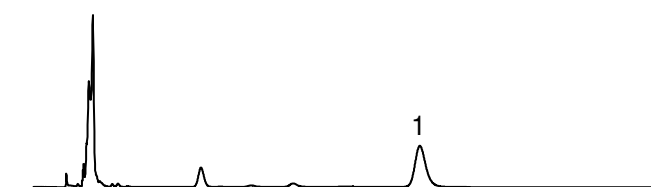
魚の鮮度分析には、魚の筋肉中に存在する ATP もしくは ATP の再生源であるクレアチンリン酸の定量が使われます。ここでは、CAPCELL PAK NH₂ UG80 S5 (4.6 mm i.d. x 250 mm) を用いてクレアチンリン酸を分析した例を示します。良好な保持及びピーク形状が得られています。併せて、濃度範囲 10~500 µg/mL における 6 点検量線を求めたところ、決定係数 R² = 0.9998 の良好な直線性が得られました。またマダイ抽出液を分析し、クレアチンリン酸が夾雑成分と重なることなく検出できることも確認しています。



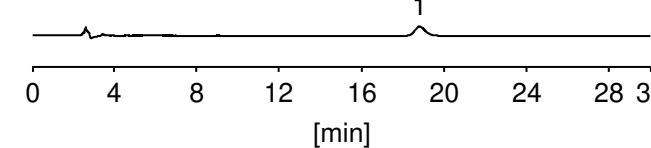
マダイ抽出液 (24時間後)



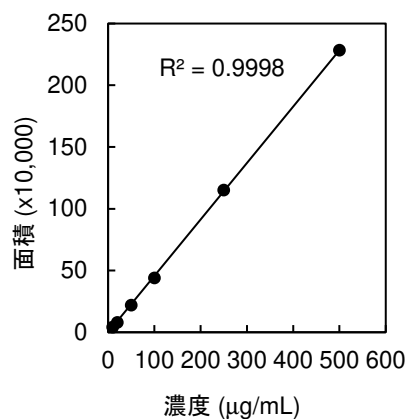
マダイ抽出液



標準品



1. クレアチンリン酸 二ナトリウム (100 µg/mL)
Creatine phosphate disodium salt (M.W. 255.1)



【HPLC Conditions】

Column : CAPCELL PAK NH₂ UG80 S5 ; 4.6 mm i.d. x 250 mm
Mobile phase : 50 mmol/L (NH₄)₂HPO₄ (adjusted at pH 3.0 with phosphoric acid)
/ CH₃OH = 60 / 40
Flow rate : 1 mL/min
Temperature : 40 °C
Detection : UV 210 nm
Inj. vol. : 10 µL
Sample dissolved in : H₂O
※ 1 µg/mL = 1 ppm